

背景

- サンゴは沿岸生態系の重要な要素であり、近年その分布は北上傾向
- サンゴ保全に関して、分布のある都県や関係市町村では、以下のような課題
- 担当者の専門性がない場合が多く、**知識の蓄積や活動等の継続性が担保しづらい**
- 都県/市町村で海洋やサンゴに関し独自の計画などを策定しているケースはほとんどなく、活動に**必要な予算の確保や体制の強化には困難が伴う**
- 専門家、専門機関（NPO等を含む）のサポート等がない場合は、どのような活動を実施すべきか、なにから始めれば良いのかなどの**ノウハウ不足**
- 隣又は他の都県（市町村）の取組みについて情報共有のプラットフォームがない
- サンゴの重要性を説明するための知見が不足しており、漁業者や観光業者等への説明が容易でない



サンゴWeb講習会の目的

自治体の担当者等を対象として、サンゴ及びサンゴ礁などに関する専門的な知見の向上、自治体間相互の連携、情報共有を行う機会を提供することで、課題解決の一助とすることを目的

実施概要

- Web会議形式にて2回実施
- サンゴ礁生態系保全に関連する自治体等が参加
- サンゴ礁保全にかかる知識や新たな知見を有する専門家等による講義、日頃のサンゴ礁保全にかかる関係自治体等の取組内容や課題の共有等を実施

対象

- サンゴ礁生態系保全行動計画の活動主体となっている10都県の担当者
- 上記10都県のうち、海岸に面しサンゴの分布などがある基礎自治体で、令和6年度に評価指標に関する調査票に回答のあった自治体（連絡先のわかる市町村）を対象

Web講習会の内容

- **サンゴに関する基礎的な情報の提供：**
 - サンゴに関する基礎的な知見
 - サンゴの調査法/研究等
 - 蓄積された情報の活用方法等
- **サンゴの保全活動に関する情報の提供**
 - サンゴの保全活動のメニューや補助金等の情報
 - 協議会などを通じた自治体間連携の例
 - 情報共有プラットフォーム設置の有効性
 - モデル事業や自然再生事業の紹介
 - NPO/NGOによる各地の活動事例

フライヤーを作成し、自治体へ配布
基礎自治体への参加声かけについては、都県にも協力をいただき実施

サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030
環境省自然環境局主催
自治体担当者向け **サンゴWeb講習会**

申込不要
参加自由

第1回 サンゴに関する基礎的な情報の提供

日時 **10月28日(火)**
13:30-16:30

プログラム

- ▶ **講演**
日本のサンゴ礁の概況について
琉球大学教授 中村 崇氏
サンゴに関する基礎知識と日本のサンゴ礁の概況について解説します
- 市民によるサンゴ分布データ収集について**
コーラル・ネットワーク代表 宮本 育昌氏
市民が主体となって実施しているサンゴの簡易的なモニタリング活動である『リーフチェック』および『サンゴマップ』についてご紹介します
- DNAを使った新たなサンゴの調査法**
沖縄科学技術大学院大学研究員 善岡 祐輝氏
近年、新たに開発が進められている環境DNAを活用したサンゴの調査方法についてご紹介します
- ▶ **ディスカッション**
講演に関する質疑応答の他、サンゴの保全活動の推進や各地における課題や要望等について意見交換等を行います。

参加方法 ▶ 下記URLよりご参加ください
<https://lwrc-webex.com/jwrc/j.php?MTID=m8dc88eac2d78537307be233f0fec6e93>

▶ 入室の際に、部署と氏名を明記（表示）してください
(例：東京都サンゴ区自然環境課_自然サンゴ部)

※本Web講習会は、令和7年度内に計2回開催予定です
※サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030の概要版パンフレットは、下記のページを参照ください
https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/pamph/C-project2022-2030_S.pdf

お問い合わせ先

実施概要

- タイトル：「サンゴに関する基礎的な情報の提供」
- 日時：2025年10月28日（火）13：30～16：30

時間	内容、講師等
13:30～13:40	「サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030」の紹介および「サンゴWeb講習会の趣旨説明」など 環境省自然環境局 自然環境計画課 柴田泰邦
13:40～14:30	講演1「日本のサンゴ礁の概況について」 （サンゴについての基礎知識と日本のサンゴ礁の概況について解説） 講師：琉球大学 理学部 海洋自然科学科 中村崇准教授
14:30～15:20	講演2「市民によるサンゴ分布データ収集について」 （市民主体で行っているサンゴ礁の簡易的なモニタリングとして、「リーフチェック」及び「サンゴマップ」について、その趣旨/意義・調査方法・結果概要についてご紹介） 講師：コーラル・ネットワーク代表 宮本育昌氏
15:20～16:10	講演3「DNAを使った新たなサンゴの調査法」 （近年、新たに開発が進められている環境DNAを活用したサンゴの調査方法についてご紹介） 講師：沖縄科学技術大学院大学学園（OIST） 善岡祐輝研究員
16:10～16:30	ディスカッション 講演に関する質疑応答の他、サンゴの保全活動の推進や各地における課題や要望等についての意見交換等を実施

実施概要

- タイトル：「サンゴに係るエコツーリズムや地域おこし等の事例紹介」
- 日時：2025年11月25日（火）9:30～12:00

時間	内容、講師等
9:30～9:35	「サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030」の紹介および「サンゴWeb講習会の趣旨説明」など 環境省自然環境局 自然環境計画課 納海音
9:40～10:20	講演1「サンゴの島の暮らし発見プロジェクトのその後」 （環境省のモデル事業で実施した喜界島での暮らし発見プロジェクトとその後の活動の展開について） 講師：喜界島サンゴ礁科学研究所 所長 山崎敦子氏
10:20～10:40	講演2「サンゴとエコツーリズム」 （サンゴ保全推進のためのエコツーリズムの概念とエコツーリズム推進法について） 講師：公益財団法人日本交通公社 観光研究部 上席主任研究員 中島泰氏
10:40～11:00	講演3「沖縄県恩納村や愛媛県愛南町における保全の取組」 （自治体におけるサンゴ保全の取組事例と、保全のためのツール「グリーンフィンズ」について） 講師：一般社団法人バーチュ・デザイン 理事 積田慧加氏
11:00～11:45	インタビューディスカッション「エコツーリズムの推進と自治体のかかわりについて」 （地域の事例・経験を踏まえて、サンゴの保全のためにどのように自治体とツーリズム関係者が連携をとれるのか、会話形式でディスカッションします） 公益財団法人日本交通公社 観光研究部 上席主任研究員 中島泰氏 一般社団法人バーチュ・デザイン 理事 片瀬泰介氏 一般社団法人バーチュ・デザイン 理事 積田慧加氏
11:45～12:00	全体の意見交換、ディスカッション 講演に関する質疑応答の他、サンゴの保全活動の推進や各地における課題や要望等についての意見交換等を実施

第1回

参加自治体：16自治体

(小笠原村、海陽町、愛媛県、長崎県、佐世保市、壱岐市、鹿児島県、日置市、奄美市、南九州市、大和村、宇検村、和泊町、与論町、沖縄県、那覇市)

第2回

参加自治体：12自治体／団体

(小笠原村、四万十町、海陽町、長崎県、日置市、鹿児島県、奄美市、喜界島ジオパーク推進協議会、沖縄県、那覇市、久米島町)

Web講習会の成果と課題など

【成果】

- 多数の自治体関係者にご参加いただいた
- 講演者には、専門的な内容を平易に説明いただいたり、具体的な事例等を多数提示いただいたことで、背景知識の少ない参加者にも理解しやすいものであったと思われ、参考になるものであった。

【課題】

- 自治体からの自発的質問はほぼなかった。オンラインによる会議では顔が見えないため、理解度などの反応がわかりづらく、質問もしづらい雰囲気があると思われた。
- 現場の臨場感や現地の雰囲気などがわからない座学的なものであるため、Webによる講習だけでは理解が難しい面があると思われた。
- これらの成果や課題も踏まえて、来年度以降実施するかは検討中。